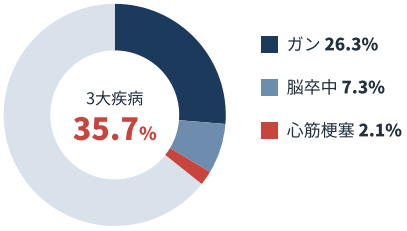
住宅ローン比較時・別紙

死亡以外の気になるDATA

① 3大疾病が死因の3割以上・男女ともに2人に1人がガン診断

日本人の死因のうち、**3大疾病が死因の3割以上**を占めています。



※ 厚生労働省：令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況

また、男女ともに**約2人に1人はガン**と診断されています。

男性	女性
65.5%	51.2%

※ 国立研究開発法人国立がん研究センター：最新がん統計（2019年データ）

② がん(長期戦)・脳(麻痺リハビリ)・心臓(突然)の病気リスクの高さ

備えるべき病気はがんだけではありません。

脳卒中※（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）
脳の急激な血管障がいの総称。脳の血管が「詰まる」、「破れる」といったことで発生する。

急性心筋梗塞※
心臓の血管が狭くなることで血流が悪くなり、心臓の筋肉に酸素と栄養が十分に行き渡らない状態。突然、締め付けられるような激しい胸の痛みが生じる。

［※出典］厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」「心疾患に関する留意事項」、「脳卒中に関する留意事項」部分を使用して作成

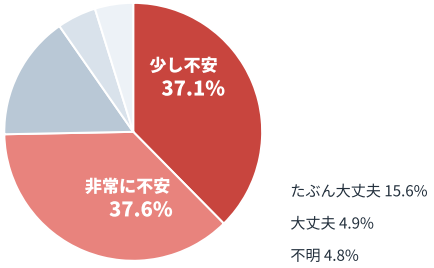
●各疾患患者数

高血圧性疾患	1617.3 万人
糖尿病	552.3 万人
がん	**393.9 万人**
脳卒中	**158.1 万人**
急性心筋梗塞	**7.5 万人**
慢性腎臓病	66.6 万人
肝硬変（アルコール性のものを除く）	11.6 万人
慢性膵炎	4.9 万人

［出典⑤］厚生労働省「令和5年患者調査」

③ 就業不能確率と死亡確率の比較

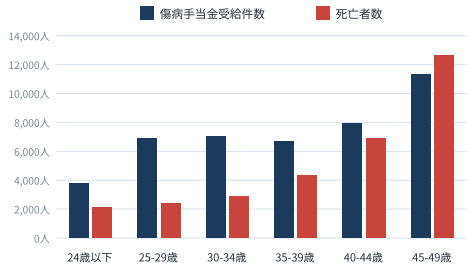
●世帯主が就労不能となった場合の必要生活資金に対する安心感・不安度〔出典①〕



＼ 就業不能時の備えはできていますか？ ／
7割以上の人が不安に感じている

実は働けなくなる確率のほうが高い？ その差は年齢によって違いがありますが、多くの年代で「傷病手当金受給件数」が「死亡者数」を上回っています。死亡時だけでなく、働けなくなった場合への備えも考えておく必要があります。

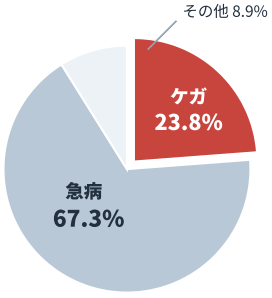
●「傷病手当金受給件数」と「死亡者数」の対比



※24歳以下の死亡者数は20～24歳で算出しています
［出典］「傷病手当金受給件数」全国健康保険協会 現金給付受給者状況調査（令和6年度）第3表 年齢階級別・傷病別 支給状況 ※総数から「精神及び行動の障害」の値を引いて算出 「死亡者数」厚生労働省

④ 病気だけではなくケガにも備えるべき

●救急搬送の内訳〔出典③〕



約4人に1人の割合

ケガは病気と違い予防が難しく、いつ起こるか分からないリスクです。

［スポーツ中のケガ］
中には重篤な状態になってしまうことも…

［交通事故によるケガ］
交通事故による負傷者数 **約2分に1人**
〔出典④〕

［出典④］警察庁ホームページ「令和7年中の交通事故の発生状況」から計算